

道徳教育に係る教員の指導力向上について

資料2

1 学校における指導体制について

(1) 学校における指導体制等

1 各学校においては、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開するため、次に示すところにより、道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成するものとする。

(1) 道徳教育の全体計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、児童、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、第2に示す道徳の内容との関連を踏まえた各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示す必要があること。

(2) 道徳の時間の年間指導計画の作成に当たっては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、計画的、発展的に授業がなされるよう工夫すること。

(小学校学習指導要領 第3章 道徳 第3の1より一部抜粋 中学校同旨)

(平成24年度「道徳教育実施状況調査」より 対象：公立小・中学校)

①道徳教育の全体計画の作成の作成（平成24年度）

	小学校	中学校
作成している	99.3%	99.3%
作成していない	0.7%	0.7%

②道徳の時間の年間指導計画の作成（平成24年度）

	小学校	中学校
作成している	99.6%	99.7%
作成していない	0.4%	0.3%

③道徳教育推進教師の配置（平成24年度）

	小学校	中学校
配置している	99.9%	99.9%
配置していない	0.1%	0.1%

④道徳の時間の指導、各教科等における道徳教育などの道徳教育の充実に向けた全校的な指導体制の構築（平成23年度）

	小学校	中学校
構築した	75.8%	75.6%
構築していない	24.2%	24.4%

⑤道徳教育の校内研修の実施（平成23年度）

	小学校	中学校
1回実施	38.1%	37.5%
2～3回実施	27.7%	32.1%
4回以上実施	7.9%	7.8%
実施していない	26.2%	22.6%

（2）教育委員会における道徳教育充実のための取組

（平成24年度「道徳教育実施状況調査」より 対象：教育委員会）

①都道府県・政令指定都市教育委員会における取組（平成20年度以降）

研修会、講習会の開催	94.0%
教師向け指導資料や児童生徒向け資料の作成・配布	83.6%
都道府県・指定都市独自の指定校事業の実施	59.7%
体験活動等の充実のための事業の実施	49.3%
保護者等向け啓発資料の作成・配布	31.3%
大学（教員養成大学等）や他の行政部局等との連携	25.4%
地域講師、特別非常勤講師等の配置	14.9%
その他	19.4%

②市区町村教育委員会における取組（平成20年度以降）

研修会、講習会の開催	51.0%
体験活動等の充実のための事業の実施	46.5%
教師向け指導資料や児童生徒向け資料等の作成・配布	26.4%
市区町村独自の指定校事業の実施	15.5%
保護者等向け啓発資料の作成・配布	12.3%
大学（教員養成大学等）や他の行政部局等との連携	12.0%
地域講師、特別非常勤講師等の配置	10.5%
その他	14.5%

(3) 地域の人々の理解や協力を得るための取組

道徳教育を進めるに当たっては、学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、学校の道徳教育の指導内容が児童生徒の日常生活に生かされるようにする必要がある。また、道徳の時間の授業を公開したり、授業の実施や地域教材の開発や活用などに、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図るよう配慮する必要がある。

(小・中学校学習指導要領 第3章 道徳 第3の4)

(平成24年度「道徳教育実施状況調査」より 対象：公立小・中学校)

①地域の人々の理解や協力を得るための取組 (平成23年度)

	小学校	中学校
行った	84.4%	73.3%
行っていない	15.6%	26.7%

②「行った」と回答した場合の取組 (複数回答)

	小学校	中学校
道徳の授業参観 (公開授業) を行った	74.7%	52.6%
道徳教育に関連した様々な教育活動や体験活動等に保護者や地域の人々の参加・協力を求めた	44.7%	35.7%
学級・学年・学校通信等で道徳教育について取り上げた	44.1%	46.9%
道徳教育について学級・学年保護者会、PTA総会等の諸会合で取り上げた	33.2%	20.3%
道徳教育に関する講演会を開催した	11.5%	15.5%
家庭訪問や保護者面談の際に道徳教育について取り上げた	11.4%	7.6%
道徳教育に関する特別な資料を作成・配布した	6.0%	6.7%
その他	1.6%	1.2%

2 教員研修の充実について

(1) (独) 教員研修センターで実施している道徳教育研修について

① (独) 教員研修センターについて

文部科学省所管の独立行政法人であり、校長、教員その他学校教育関係職員に対する研修や各都道府県教育委員会等への研修に関する指導、助言及び援助等を行っている。

所在地：茨城県つくば市立原3（つくば本部）

② 道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修、ブロック別指導者研修）

道徳教育の改善・充実のため、発達の段階に応じた指導内容の重点化や道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実、道徳の時間の指導の充実、体験活動の推進、魅力的な教材の充実等について、必要な知識等を習得し、各地域における研修講師や各学校への指導・助言を行う指導者を養成している。

対象者：都道府県・指定都市・中核市等教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者。小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等、指導者としての活動を行う予定である者。

研修内容：「発達の段階に応じた指導」や「道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実」等のテーマを中心に、講義や持ち寄った事前課題をもとにグループ協議を通して、具体的な道徳教育実践の取組方法等について学ぶ。

研修日程：【中央指導者研修（5日間）】

1日目	行政説明 課題協議「今、求められる道徳教育の充実を目指して」 演習「道徳教育推進上の課題－発達の段階に応じた指導内容の重点化－」
2日目	課題協議「心を育てる道徳教育の具体的展開」、「体験活動や実践活動を通じた道徳教育」 事例発表・協議「学校教育全体を通じて行う道徳教育の実践と課題」 課題協議「心のノートの活用について」
3日目	小・中学校部会：演習「道徳教育推進教師を中心とした協力・指導体制の充実と計画づくり」 部会協議「『道徳の時間』の充実を図るために」、演習「道徳の授業づくりとその評価」 高等学校部会：部会協議「人間としての在り方生き方に関する教育の展開」 事例発表・協議「人間としての在り方生き方に関する教育の実践と課題」 演習「学校の教育活動全体を通じて行う人間としての在り方生き方に関する教育の展開」 演習「人間としての在り方生き方に関する教育の各教科等における具体的な教材研究・実践」
4日目	小・中学校部会：演習「子どもの心に響く道徳教育の実践Ⅰ－学習指導案の作成・検討－」 模擬授業・協議「子どもの心に響く道徳教育の実践Ⅱ－模擬授業の発表・協議－」 高等学校部会：演習「高等学校における人間としての在り方生き方に関する教育の充実に向けて」
5日目	模擬授業・協議「子どもの心に響く道徳教育の実践Ⅱ－模擬授業の発表・協議－」 課題協議「研修講師となるために」

③ 教職員等中央研修（中堅教員研修）

教職員等中央研修（中堅教員研修）の「教育指導上の課題」の中で道徳教育を2コマ（150分）実施している。なお、中堅教員研修はつくば会場で年4回開催。

対象者：小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教員（副校長・教頭を除く）で、今後、学校経営、教育実践において、各地域の中核的な者として活躍が期待され、おおむね35歳以上かつ教職経験10年以上の者。

(2) 初任者研修における道德教育研修実施率 (平成23年度)

1. 調査結果公表 : 平成24年11月
2. 調査対象 : 107都道府県・市
(47都道府県、19政令指定都市、41中核市)
3. 調査結果(概要):

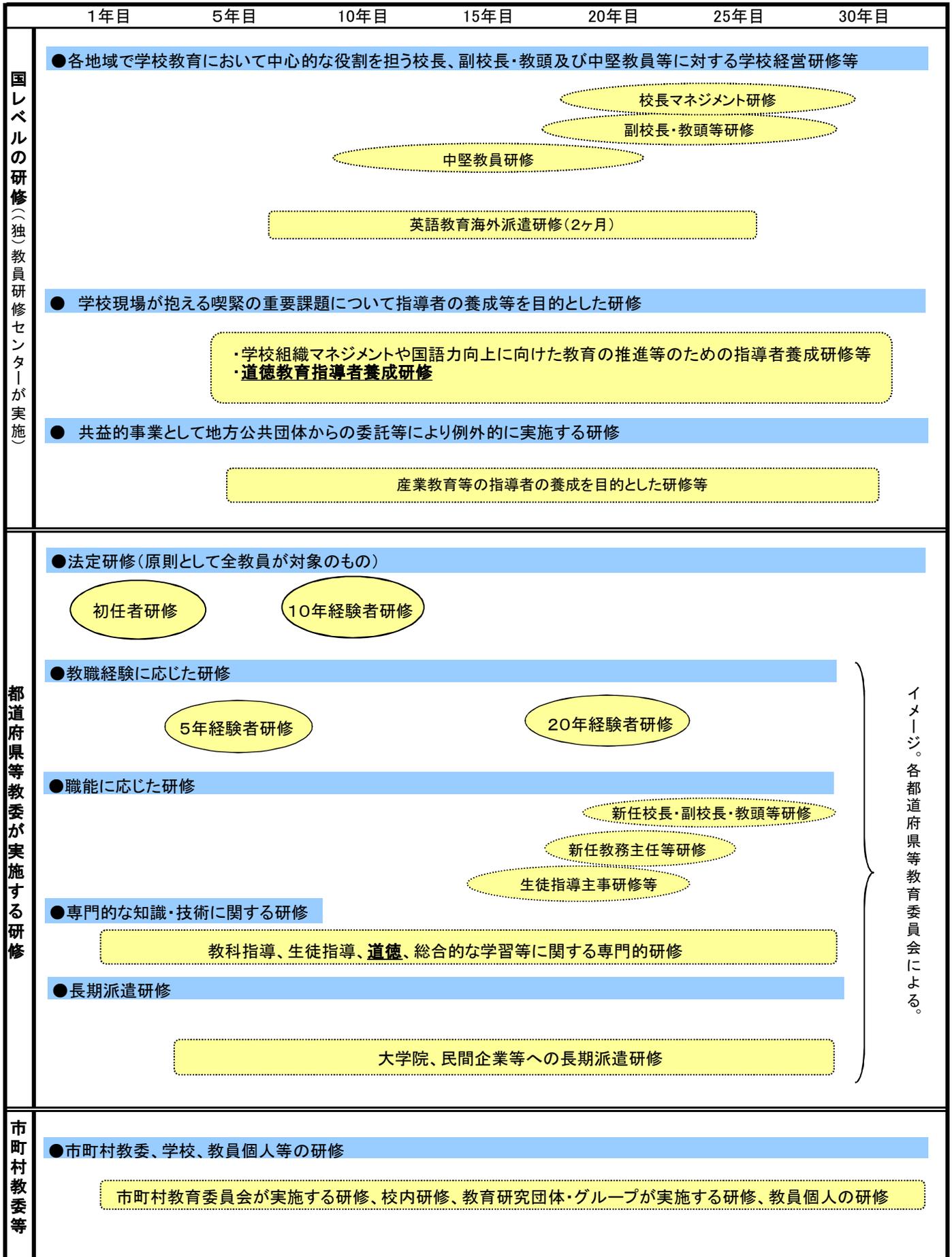
	小学校 (107教委中)	中学校 (107教委中)	高等学校 (62教委中)	特別支援学校 (63教委中)	中等教育学校 (3教委中)
校内研修	100%	100%	77%	94%	100%
校外研修	93%	94%	61%	62%	100%

初任者研修について

新規採用された教員に対して、採用の日から1年間、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させるため、学級や教科・科目を担当しながらの実践的研修(初任者研修)を行うこととされている。

- 対象者 : 公立の小学校等の教諭等のうち、新規に採用された者
- 実施 : 都道府県、指定都市、中核市教育委員会
- 根拠法 : 教育公務員特例法第23条

(参考)教員研修の実施体系



イメージ。各都道府県等教育委員会による。

※ 各研修の実施時期は、目安

(3) 教員免許更新制について

1. 教員免許更新制の目的

教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることが目的。
 教員免許更新制の導入：平成21年4月1日

2. 免許状更新講習とは

(1) 免許状更新講習を開設できる者

大学、指定養成機関、都道府県等の教育委員会、独立行政法人・公益法人

(2) 免許状更新講習の内容

① [必修領域] (12時間以上)

教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項

② [選択領域] (18時間以上)

教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項

3. 免許状更新講習の実施状況

① 必修領域

必修領域は下図のとおり、4項目8細目から構成され、a～vに示す内容を含む。(ただし、網掛け部分はいずれかの内容が含まれていけばよい。)

(下図) 免許状更新講習の認定申請等要領より抜粋

項目	細目	記号	含めるべき内容・留意事項
教職についての省察	学校を巡る近年の状況変化	a	客観的・具体的材料(各種報道・世論調査・統計等)の適切な利用
	教員としての子ども観、教育観等についての省察	b	子ども観、教育観等についての省察
		c	教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄
子どもの変化についての理解	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)	d	子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容
		e	特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等)
	子どもの生活の変化を踏まえた課題	f	居場所づくりを意識した集団形成
		g	多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割
		h	生活習慣の変化を踏まえた生徒指導
		i	社会的・経済的環境の変化に応じたキャリア教育
		j	その他の課題
k	カウンセリングマインドの必要性		
教育政策の動向についての理解	学習指導要領の改訂の動向等	l	総則の趣旨の理解
		m	意欲を喚起する学習指導
		n	<u>子どもの実態を踏まえた道徳・特別活動の指導</u>
	o	その他近年の状況を踏まえた内容	
法令改正及び国の審議会の状況等	p	法令改正、国の審議会の状況等	
学校の内外における連携協力についての理解	様々な問題に対する組織的対応の必要性	q	学校組織の一員としてのマネジメント・マインドの形成
		r	保護者・地域社会との連携
		s	その他近年の状況を踏まえた内容
	t	対人関係、日常的コミュニケーションの重要性	
	学校における危機管理上の課題	u	校内外の安全確保に関する内容
		v	情報セキュリティなど近年の状況を踏まえた内容

平成24年度：300大学等、736講習（定員：89,994人）※必修領域全体の講習（通信教育を除く。通信教育は、13大学等、18講習において、平均して約1,800人の定員で実施。）

②選択領域

選択領域は講習開設者がその内容を自主的に定めて実施する。

実施にあたっては、受講者の意向を把握し、当該意向を適切に反映するよう努めなければならない。(免許状更新講習規則第7条)

[道徳に関する講習(例)]

○道徳の指導法(役割演技を道徳の授業に)(上越教育大学)

学習者に道徳的価値の自覚を深める道徳の授業方法として、道徳的価値の「実感的理解」を実現する「役割演技(ロール・プレイング)」を取り上げる。学習指導要領に準拠しつつ道徳授業の中でいかに役割演技を展開するか、演者や観客の育成の方法や監督としての授業者の役割、学習構造の変化など、講義と演習を通して学ぶ。

○話し合い活動を活発に行う道徳の時間の授業づくり(岡山大学)

変化の激しい時代や社会の中で、子どもたちの多様な諸課題に対応できる道徳教育が求められている。また、道徳教育は、教育のもっとも基礎的な課題であり、すべての教育の基礎となるため、学校の全教員が道徳教育について一定の共通理解を持つ必要がある。そこで、本講座では、まず学校の道徳教育の意義について講述し、その上で道徳教育の実践的な課題について、特に話し合い活動を活発に行うことのできる道徳授業を中心に事例を示しながら解説する。

○心に響く道徳教育(文教大学)

「道徳とは何か」「道徳教育とは何か」「子どもの道徳性の発達」「道徳教育の授業理論」などの観点から、道徳教育に関する基礎理論を学びなおす。また、「学校における道徳教育」「子どもの心に響く道徳授業」の最新の実践を学び、実践的指導力を高めるための工夫を明らかにする。そのため、学習指導案(略案)を作成し、模擬授業を行って「授業力」を高める具体的な取り組みも行う。

○道徳の授業作り入門(明星大学)

“道徳の時間の指導の基本事項を理解し学習指導案が作成できる”また、“児童の反応を即した授業展開ができる”ことを目的として、道徳の時間の特質、道徳の授業を行う教師の基本姿勢を明らかにする。小学校の道徳授業で実際に扱う道徳資料を使い、資料分析の仕方・発問構成・板書計画等の内容を含んだ学習指導案を作成する。

○道徳の指導法ーモラルスキルトレーニングー(新潟工科大学)

行動の指導から内面性の育成へとつながる道徳教育の指導方法として、「モラルスキルトレーニング」を取り上げる。型にはめるというスキルトレーニングだけにとどまることなく、学習指導要領に準拠しつつ道徳授業の中でいかにスキルトレーニングを展開するかを、講義と演習を通して学ぶ。

平成24年度:38大学等、65講習(定員:3,560人) ※「道徳」に関する講習

参考：都道府県教育委員会における研修等の例

(H25.7.18 道徳教育の充実に関する懇談会(第5回)石川県教育委員会発表資料)

石川県教育委員会における道徳教育に関わる施策

《いしかわ道徳教育推進事業》

○趣旨

児童生徒の郷土を愛する心や生命尊重等の道徳性を育むため、平成23・24年度に作成・配布した本県独自の「いしかわ版道徳教材」を活用し、地域の特色を生かした心に響く道徳授業に取り組むことにより、本県道徳教育の充実を図る。

○事業内容

◇小中学校

いしかわ版道徳教材「ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ」の活用、道徳の授業の充実、保護者・地域との連携の推進に向けた取組

①道徳教育推進校の指定(小学校20校、中学校10校 合計30校)

ア 推進校における道徳の授業実践研究

イ 「人と地域を生かした道徳教育講座」の開催

ウ 道徳教育推進校連絡協議会の開催

②道徳教育推進教師連絡協議会の開催(県内4地区 年間1回)

③全ての小中学校において、意図的・計画的に道徳の授業を公開

◇幼稚園における取組

幼稚園道徳教育研究協議会の開催等

◇高等学校における取組

高等学校道徳教育研究協議会の開催等

【県教育センター事業】

①校内研修サポート事業

②指定研修(担当者研修)「道徳教育推進教師研修」

内容

[1日目]

- ・講義「道徳教育推進教師を中心とした道徳教育と道徳の時間の充実」
講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 赤堀博行
- ・グループ協議「各学校における道徳教育の充実」

[2日目]

- ・講義「各学校における心に響く道徳教育の充実」
講師：上越教育大学大学院准教授 白木みどり
- ・グループ協議「来年度に向けて道徳教育推進教師が担うもの」

③課題選択研修

ア 今日的課題研修「心をはぐくむ道徳の授業づくり」

内容

午前 講義 「心に響く道徳教育のすすめ方」
午後 講義・演習 「道徳の授業づくり～資料の吟味と授業のポイント」
講師：東京学芸大学教授 永田繁雄

イ 今日的課題研修「すぐに生かせる道徳の授業の指導ポイント」

内容

講義・演習「道徳授業の指導ポイント」

④基本研修

ア 初任者研修 小・中学校 道徳・特別活動

内容

講義・演習「道徳の指導の在り方と資料分析」

イ

10年経験者研修 小・中学校 教科指導等V
(道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動から選択)

内容

講義 「道徳」学習指導案の検討・改善

3 教員養成課程について

○教員養成課程における教員免許状取得に係る必要単位数

教員免許状の授与を受ける場合、(1)、(2)に示す単位数を修得することが必要となっている。また、小学校、中学校の教員免許状を取得する場合には、その単位に加えて、(3)に示す介護等体験が必要となっている。

(1) 教育職員免許法第5条別表第1に定める科目（教職課程において修得すべき科目）

第一欄 所要資格		第二欄 基礎資格	第三欄			
免許状の種類			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	6	35	34	
	一種免許状	学士の学位を有すること	6	35	10	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	4	27		
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	8	41	34	
	一種免許状	学士の学位を有すること	8	41	10	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	4	31	2	
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	31	32	
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	31	8	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	10	21	4	
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	23	40	
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	23	16	
特別支援学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				50
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				26
	二種免許状	小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				16

次頁参照

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

- 日本国憲法 2単位
- 体育 2単位
- 外国語コミュニケーション 2単位
- 情報機器の操作 2単位

(3) 小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律第2条に定める介護等体験

- 7日間の障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験

教職に関する科目の修得方法

○教育職員免許法施行規則

第六条 免許法別表第一に規定する幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職に関する科目の単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

第一欄	する教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	幼稚園教諭			小学校教諭			中学校教諭			高等学校教諭		
			専修免許状	一種免許状	二種免許状	専修免許状	一種免許状	二種免許状	専修免許状	一種免許状	二種免許状	専修免許状	一種免許状	
最低修得単位数	第二欄	に教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		進路選択に資する各種の機会の提供等												
	第三欄	する教育の基礎理論に関する科目	6	6	4	6	6	4	6	6	4	6	6	
		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想												
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）												
	第四欄	る教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法											
			各教科の指導法				22	22	14	12	12	4	6	6
			道徳の指導法											
			特別活動の指導法											
			教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）											
教育課程の意義及び編成の方法		18	18	12										
保育内容の指導法														
進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				4	4	4	4	4	4	4	4		
	進路指導の理論及び方法													
	幼児理解の理論及び方法	2	2	2										
第五欄	教育実習	教育実習	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	
		教職実践演習	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

備考

- 四 各教科の指導法の単位の修得方法は、小学校教諭の専修免許状又は一種免許状の授与を受ける場合にあつては、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育（以下この号において「国語等」という。）の教科の指導法についてそれぞれ二単位以上を、小学校教諭の二種免許状の授与を受ける場合にあつては、国語等のうち六以上の教科の指導法（音楽、図画工作又は体育の教科の指導法のうち二以上を含む。）についてそれぞれ二単位以上を、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、それぞれ、受けようとする免許教科ごとに修得するものとする。
- 五 道徳の指導法の単位の修得方法は、小学校又は中学校の教諭の専修免許状又は一種免許状の授与を受ける場合にあつては二単位以上を、小学校又は中学校の教諭の二種免許状の授与を受ける場合にあつては一単位以上を修得するものとする。

道徳教育関係科目の例

■道徳教育Ⅰ（1単位）

【授業概要】

本授業は、教員に必要な道徳教育の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、日本の道徳教育の変遷と諸外国の道徳教育の特徴について解説する

【目標】

教員に必要な道徳教育に関する基礎知識を習得する。

【授業内容】

- 第1回 オリエンテーション：授業の進め方と授業内容の概要を説明する。
- 第2回 道徳教育の変成Ⅰ：明治前期の道徳教育について説明する。
- 第3回 道徳教育の変成Ⅱ：明治後期の道徳教育について説明する。
- 第4回 道徳教育の変成Ⅲ：大正期の道徳教育について説明する。
- 第5回 道徳教育の変成Ⅳ：戦争直後の道徳教育について説明する。
- 第6回 道徳教育の変成Ⅴ：戦後の道徳教育について説明する。
- 第7回 道徳教育の変成Ⅵ：最近の道徳教育について説明する。
- 第8回 道徳教育の変遷Ⅳ：イギリス、ドイツの道徳教育について概観する。
- 第9回 諸外国の道徳教育：フランス、アメリカの道徳教育について概観する。
- 第10回 試験

■道徳教育Ⅱ（1単位）

【授業概要】

本授業は、「道徳教育Ⅰ」の内容を踏まえ、教員に必要な道徳教育の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、道徳教育理論、および学校の具体的な道徳教育の実践までを広範囲に扱うことになる。

【目標】

教員に必要な道徳教育に関する基礎知識を習得する。

【授業内容】

- 第1回 諸外国の道徳教育理論Ⅰ：デュルケム等の理論について説明する。
- 第2回 諸外国の道徳教育理論Ⅱ：ピアジェ等の理論について説明する。
- 第3回 諸外国の道徳教育理論Ⅲ：ラス等について説明する。
- 第4回 諸外国の道徳教育理論Ⅳ：コールバーグ等について説明する。
- 第5回 学校教育全体における道徳教育：基本方針と目的について説明する。
- 第6回 道徳の時間における指導法Ⅰ：指導の基本方針について説明する。
- 第7回 道徳の時間における指導法Ⅱ：学習指導案の作成について説明する。
- 第8回 道徳教育の再構築のためのヒントⅠ
- 第9回 道徳教育の再構築のためのヒントⅡ
- 第10回 試験

【担当教員研究分野等】

道徳教育論、シユタイナー教育、ホリスティック教育、特別活動、課外教育活動、課程教育論

■道徳の指導法 (2単位)

【授業概要】

この授業では、「道徳」授業の材料となりうる事例や教材、そして授業実践例の考察を通して、(1)「道徳とは何か」「道徳は教えられるのか」といった根本問題、道徳教育の基本的課題を理解し、また、(2)学校での指導法について、学生が自ら経験したケースの考察や学習指導案の作成などを通して考えていく。

【目標】

- ・道徳教育に関わる諸事例の考察から、理論の学びへと至る過程を通して、道徳教育をめぐる問題構造を捉える。
- ・学校における道徳教育の特質を理解し、「道徳」の学習指導要領上の位置づけについて説明できる。
- ・「道徳の時間」の学習指導案を作成することができる。

【授業内容】

- 第1回 イントロダクション —受講にあたっての注意・受講者の意識調査—
- 第2回 課題レポート(学習指導案)のテーマ・素材・提出方法
- 第3回 学習指導案の書き方(1)—作成項目・手順について—
- 第4回 道徳授業の記憶 —学校における道徳教育は何が問題か、受講者のコメントから—
- 第5回 学校教育における道徳教育・「道徳の時間」の位置づけ(1)—学習指導要領を読む—
- 第6回 学校教育における道徳教育・「道徳の時間」の位置づけ(2)—歴史的変遷から考える—
- 第7回 道徳教育の基本的問題(1) —生徒の実態をめぐって—
- 第8回 道徳教育の根本的問題(2) —徳目主義・心情主義を考える—
- 第9回 学習指導案の書き方(2) —学習指導過程・指導方法を考える—
- 第10回 「道徳の時間」の実践的問題
- 第11回 現代の道徳的課題を考える(1) —「生・死」をめぐって—
- 第12回 現代の道徳的課題を考える(2) —「いじめ問題」を考える—
- 第13回 現代の道徳的課題を考える(3) —教材研究・ディスカッション—
- 第14回 課題レポート(学習指導案)講評・指導例発表
- 第15回 まとめと評価

【担当教員研究分野等】

教育方法学、カリキュラム論、道徳教育論、日本教育史

■道徳教育指導法（2単位）

【授業概要】

道徳教育は、これを習得した児童・生徒が、幸せになることを確信して行うものである。人間が本来的に有する集団性、自身の成長意欲や発展性、自然性（含：宇宙性）、自立性（含：自律性）等々について自覚させ、これらをどのように調和的に満たしていくか、こういったことの認識力と行動力を育てる、つまりは、心を育てる教育のことと考えて、このことを中心に考察していく。

【目標】

道徳とは何かについて、その概要が掴め、同時に、教育活動実践としての道徳教育指導ができること。

中学校にあつては道徳教育の学習指導案が書けるようになることを目指す。

高等学校にあつては、教科、領域、総合的な学習の時間、及び特別活動等を通した道徳教育の指導ができるようになることを目指す。

【授業内容】

- 第1回 道徳教育を行う教師の在り方、あるいは資質について
- 第2回 「道徳は教えられるか」という問題提示の存在について
- 第3回 小・中・高と体験してきた道徳教育（授業）を振り返ろう
- 第4回 「道徳は教えられる」という観点について
- 第5回 「西日本人物誌シリーズ全20巻（西日本新聞社刊）」の中から1冊を取り上げて道徳の授業を創造しよう
- 第6回 コミュニケーション能力の育成（演習）
- 第7回 道徳教育の理論的構成について
- 第8回 学校現場で行われている先進的な道徳教育授業について
- 第9回 学習指導案の書き方について
- 第10回 社会観をまとめよう（演習）
- 第11回 教育観をまとめよう（演習）
- 第12回 教材観、生徒観、指導観について（生徒観については演習）
- 第13回 学習の展開と評価について
- 第14回 道徳学習指導案の発表①（演習）
- 第15回 道徳学習指導案の発表②（演習）

【担当教員研究分野等】

教育哲学、教育経営学、教科教育法、道徳教育指導法

■道徳教育の研究 (2単位)

【授業概要】

この授業では今日の日本における道徳教育の基本的な考え方を解説したうえで、学校で道徳教育をどのように行っていけばよいのかということを考えていきます。授業では毎回、その日のテーマに関する課題を提示し小レポートを授業時間内に作成・提出してもらいます。

【目標】

道徳教育の基本的な考え方を理解し、学校における道徳の指導法について具体的に考えることができる。

【授業内容】

- 第1回 道徳教育とは何か
- 第2回 子どもと道徳
- 第3回 道徳教育の目標
- 第4回 道徳教育のしくみ
- 第5回 日本の道徳教育の歴史・戦前編
- 第6回 日本の道徳教育の歴史・戦後編
- 第7回 道徳の授業を考える①—道徳授業の基本型
- 第8回 道徳の授業を考える②—新しい授業の試み
- 第9回 道徳の授業を考える③—道徳授業で大切なこと
- 第10回 道徳の授業を考える④—評価をどう行うか？
- 第11回 学習指導案の作成法①—ねらい
- 第12回 学習指導案の作成法②—主題の設定
- 第13回 学習指導案の作成法③—学習指導過程
- 第14回 道徳教育の課題
- 第15回 まとめ

【担当教員研究分野等】

教育学

■道徳教育の理論と方法 (2単位)

【授業概要】

1. 道徳とは何か、道徳教育とは何か
2. 道徳教育の歴史的な変遷とその課題
3. 学校における道徳教育の内容と実践
4. 道徳と宗教との関係をめぐる問題
5. 現代教育における道徳教育の課題

【目標】

人間にとって道徳とは何かという課題を深めることで、学校における道徳教育の意義と役割、さらにはその内容を多角的かつ構造的に理解できるようにする。

【授業内容】

- 第1回 オリエンテーション：講義のねらいと課題（道徳教育をめぐる状況）
- 第2回 道徳教育とは何か、道徳教育をどう考えるか
- 第3回 道徳教育の歴史（1）－修身教育と教育勅語－
- 第4回 道徳教育の歴史（2）－戦後教育改革－
- 第5回 道徳教育の歴史（3）－「道徳の時間」をめぐって－
- 第6回 道徳教育の歴史（4）－「期待される人間像」から「心の教育」答申－
- 第7回 道徳教育の歴史（5）－「ゆとり教育」と「心のノート」－
- 第8回 道徳教育と宗教の関係
- 第9回 「道徳の時間」の目的と構造
- 第10回 道徳教育の資料と方法
- 第11回 学習指導案の作成とその方法
- 第12回 心理主義と個性の問題
- 第13回 道徳教育における「公共性」の問題－愛国心をめぐって－
- 第14回 模擬授業（1）－テーマA
- 第15回 模擬授業（1）－テーマB

【担当教員研究分野等】

日本教育史、道徳教育論、天野貞祐研究

(参考) 専修免許状への「道德教育」分野の記入について

大学院において、道德教育分野に関する単位を12単位以上修得した場合は、専修免許状に、大学院での専攻に加えて「道德教育」と記入することができることとなっている。

○教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）

第七十二条 普通免許状の様式は、別記第一号様式のとおりとする

2 専修免許状には、大学院での専攻を記入するものとする。この場合において、次の各号に掲げる免許状の区分に応じ当該各号に掲げるいずれかの分野に関する単位を十二単位以上修得した場合は、大学院での専攻に加えて当該分野を記入することができる。

一 (略)

二 小学校又は中学校の教諭の専修免許状においては、教育哲学、教育史、教育制度・学校経営、教育社会学、教育内容・方法、教育心理学・発達心理学、教育臨床、生徒指導・進路指導、国語教育、社会科学教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育、道德教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、日本語教育、生涯学習（社会教育を含む。）又は授与権者が適当と認めた分野

三～六 (略)

3 (略)

小学校教諭専修免許状	
本籍地	氏名
年 月 日生	年 月 日
右の者に教育職員免許法第五条の定めるところにより小学校教諭専修免許状を授与する。	
授与権者 印	年 月 日
平 小専第 号	授与条件 学校教育専攻（ 道德教育 ）
有効期間の満了の日	年 月 日